

## 木のグランドフェアを終えて

企業支援部 普及連携グループ 林 幸範

今年で26回目となる「木のグランドフェア」は、林産試験場と一般社団法人北海道林産技術普及協会の共催で木材利用に係る研究成果の普及と科学技術に対する理解の推進を目的に、「木になるフェスティバル」と「木工作ひろば」を実施しました。

開催にあたっては、「木のグランドフェア企画運営会議」を立ち上げ、場内でアイディアを出し合い内容を練り上げ進めていきました。

それぞれの開催内容について紹介します。

### ■木になるフェスティバル

「木になるフェスティバル」は、平成4年に行われた「日本の木のおもちゃ&木の遊具展」を発端として始まり、現在は林産試験場を一般の方へ広く公開する日として、旭川市内の小学校の夏休み最初の土曜日に実施するイベントとして定着させてきました。

今年の開催は7月29日（土）で、開会式は川場長の挨拶後に主催者と来場者の代表によるトドマツの丸太カットを行いました（写真1）。

来場者の中で最も多い組み合わせは、小学生を家族に持つ親子連れで、これは市内の小中学校などへ積極的に宣伝した成果と思われます。

イベントは林産試験場の研究成果の普及や木材に関係する科学技術を紹介する内容で、研究部が10件、企業支援部が3件、一般社団法人北海道林産技術普及協会が2件の催事を実施しました。概要は次のとおりです。

#### ①「木工作体験」

試験が終了した試験体を再利用してキット化した木工体験（写真2）

#### ②「木材の3D加工」

デジタルデータから3次元の造形物が作成できるCNC木工旋盤の実演（写真3）

#### ③「ヒゲをそらないシェービング」

OSBの原材料であるストランドを製造するシェービングマシンの実演と、作成したストランドでしおり作りの体験（写真4）

#### ④「りんさんしクイズ」

林産試験場の研究内容や木材に関するクイズ大会

#### ⑤「大きな木は燃えやすい」



写真1 開会式の丸太カット



写真2 木工作体験の様子



写真3 CNC木工旋盤の実演

### トドマツCLTの耐火試験の実演

- ⑥ 「性格古い？まっすぐ割れるかな！？」  
実際に木材を割り、木材の繊維方向を観察する体験
- ⑦ 「熱いぜ！バイオマス」  
各種木質バイオマスの紹介やクイズ、木炭を使用した実験の実演（写真5）
- ⑧ 「キノコアクセサリ作り&キノコ汁体験」  
キノコを樹脂で固めたアクセサリ作りとキノコ汁の試食
- ⑨ 「のりではって工作」  
ハネムーン型の接着剤を使用し、木材の板を貼り合わせる工作
- ⑩ 「VRで木になるお仕事見学」  
木材の工場や木造建築の360° 動画・静止画をVR（バーチャルリアリティ）ゴーグルやタブレットでの視聴体験（写真6）
- ⑪ 「この木なんの木&ゴムてっぽう」  
木材の組織観察や、比重の違いなどを体験、木の的を狙うゴムてっぽうの射的
- ⑫ 「ヨーヨーをつくってみよーよー」  
比重の違う木材を使用して作製するオリジナルヨーヨー作り
- ⑬ 「りんさんしめぐり」  
普段見ることのできない林産試験場の試験機械や加工機械の見学ツアー
- ⑭ 「スタンプラリー」  
指定された林産試験場の催事を巡るスタンプラリー
- ⑮ 「木って素敵！」  
一般社団法人北海道林産技術普及協会によるオリジナル木工作キットなどの販売
- ⑯ 「木っ端販売」  
一般社団法人北海道林産技術普及協会による木材チップや製材などの販売
- 催事の中で人気の高かったものは、「ヨーヨーを作ってみよーよー」、「キノコアクセサリ作り&キノコ汁体験」といった小物の工作や、「木材の3D加工」、「ヒゲをそらないシェービング」といった、普段見ることのできない試験機械の実演でした。
- また、来場者に実施したアンケートでは「楽しかった」という感想のほか、「いろいろと木のことを知れました。」といった回答もいただき、来場者に木材に関する知識を深めていただけたと感じました。

### ■木工作ひろば

木工作ひろばは、小学生を含む親子を対象に製材や端材を使用した自由工作教室で、8月6日（日）に開催しました（写真7）。

指導員は林産試験場のOB等で、鋸や金槌などの使



写真4 シェービングマシンの実演



写真5 木炭を使用した実験



写真6 VRによる工場見学の様子



写真7 木工作ひろばの開会式の様子

用方法や木工の基礎について説明を受けた総勢27名の参加者が思い思いに作品を製作しました(写真8)。

作品の中で一番多いものは2~3人がけのベンチで、子供の身長等に合わせて座面の高さを低く調整するなど、自由工作ならではの使う人に合わせた仕様に仕上げ、それぞれ個性が光っていました。

他には本棚や、マガジンラック、組み立て式の椅子、キャットタワー(写真9)等の実用性が高い作品が多くみられました。

特にキャットタワーは、ペットのネコも家族として大切にされていることが伺える作品で、木工を通じて家族の絆を深めるイベントであるとあらためて感じました。



写真8 指導員による工作教室

#### ■おわりに

木材利用に係る研究成果の普及と木材に関する科学技術の理解を一般の方に広めるには、「木材っておもしろい」、「木材ってこんなところにも使われているんだ」といったことをきっかけに「なぜ」や「どうして」といった興味への喚起につなげていくことが重要と考えています。

今後も催事として人気の高かった実用性の高い木工や、普段お見せすることができない木材加工機械の実演などを通じ、木材利用に係る研究成果の普及と木材に関する科学技術の理解を深めるとともに、「来年も家族でまた行きたい」と言われる「木のグランドフェア」を開催していきたいと考えております。



写真9 作品(キャットタワー)